

- ・コラム「立ち尽くし、佇む力」
- ・お知らせ(松下さん活動報告会、通常総会、自動火災報知設備設置、中学生体験実習)
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

177号/2017

Since 1984

「立ち尽くし、佇む力」

杉浦 良

昔々の話です。ボランティアという言葉がまだ目新しい頃、様々なハンディーある子供達と一緒に、歌やゲームや劇などをして遊ぶサークル活動を体験しました。遊ぶだけならそれでいいのですが、子供達の置かれた状況や背景が見えてくるにしたがって、そこから見える問題の大きさに、こちらの力量がついていけません。泥水ばかりすすっている子、紙ばかり食べる子、ウンチで遊ぶ子、空を見ながらぐるぐる回っている子。教育とか療育とかの領域からはみ出そうな子供達と、どう接していいのかわからなくなりそうな時、とりあえず子供達が喜んでくれそうな表情を手掛かりに、週1回の出し物を模索していました。見渡せば、大学にもまだ少し学生運動の残り火が残っていた頃です。



通常は1個50円のリユース品が10個100円で購入できるタイムセールです。ハンディをもったメンバーだけで、準備、運営から後片付けまで行っています。職員が主役でメンバーはお手伝い、指導員が横につき添って見守り、といった福祉施設でよく見られる光景は、ここではありません(そもそもセールのわずかな売上で職員の給料は捻出できません)

「本来は国家がやらなければならない障害者福祉の領域に、ボランティアという存在そのものが国家の欺瞞を増長させる悪しき行為だ・・・。国家によって抑圧された人民と、同じく抑圧された障害者の連帯をはかり、そこに解放の道筋をつけ・・・」

「難解な言葉や思想はどうでもいいよ。難しい言葉を連ねていくと何となく世の中が解った気になるけど、それ自体が幻想。楽しめばいいんよ、ハンディある子供達と一緒に・・・」

様々な方位の言葉が、虚しく私の頭で空回りしていました。言葉と実体との乖離とでも言うのでしょうか、色々な言葉が行き交い、自分の中で腑に落ちることもなくただ浮遊する、そんな時間が長く続きました。若いということ自体が傲慢であり、経験の無さが故にラディカルになれた時、いつしか熱が冷めるように人も変わりました。

「スキゾキッズ」なる言葉に象徴された時代の流れの中、臨機応変にその時その時の風を読んで身の処し方を変えることができない「私」に直面した時、それはそれとして認めて受け入れることからしか、出口は見つかりません。

「そんなに人間って変わらないよ・・・。子供の時は成長と共に変わったと思えただけ・・・。大人になって変わるのって大変、変わったと思ってもそれは表面だけ・・・。こんな風に対処したから、あんな風が変わったなんて、ウソ。いろんな対策立ててうまくいかなければ、本人にそれだけの力がなかったと烙印を押して・・・、そんなに早く出る結果なんて偽物・・・」

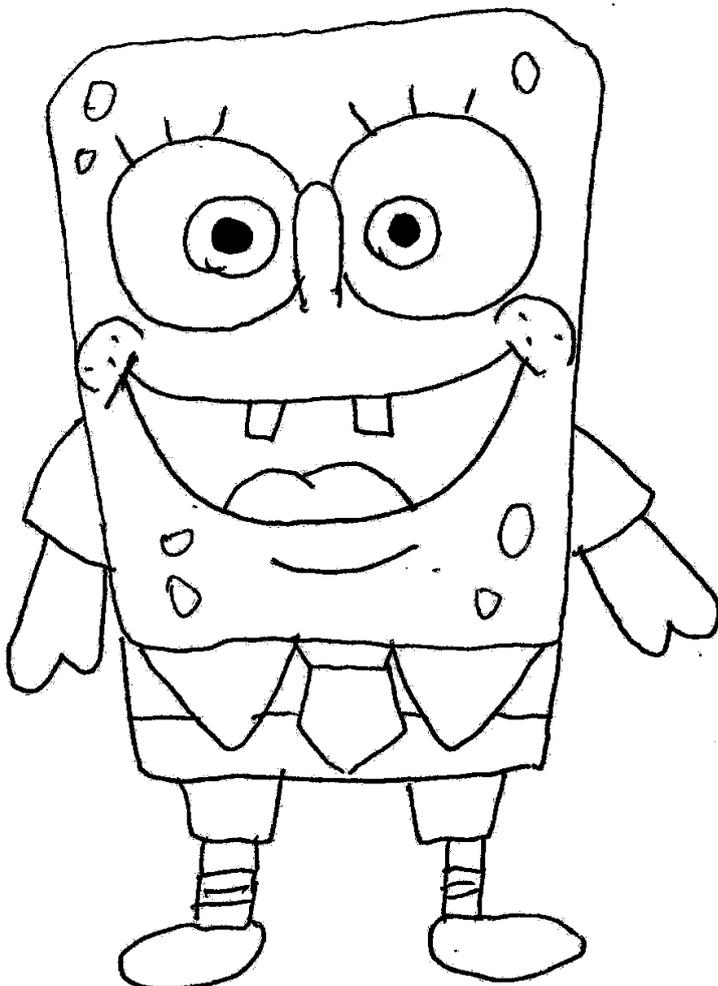


イラスト Yさん

いろいろ、ああだこうだと考えてやってみるのですが、上手くいくのは10やって1つ位でしょうか。自分なりに内省してみると、それが正直なところですよ。ただあまりに打率が低いのでやらない方が良いのでは、と思ったらアウトです。あかんかもしれないけど色々仕掛ける、その持続に可能性が秘めているように思います。ああやればこうなる方式とは相いれない、真逆の発想です。変化に心が躍り、ワクワクドキドキするのは反対の、やっても駄目かもしれないが、くさらず懲りずにやれる力です。立ち尽くし、佇む力とでも言うのでしょうか？即効で有効な対策は見つからないけれど、不安を体に留め置き、切りたくなる気持ちを脇に置きながら、それでも待てる力。そんな力があることを感じさせてくれたのは、優秀で頭の回転が速いと言われる方達ではなく、実はハンディーがあるとされるメンバー達でした。「今」そんな力の大切さを思います。

# お知らせ

## 松下さん活動報告会

7月21日、朝ミーティング前に、モヨ・チルドレン・センターの活動記録DVDを見ながら松下照美さんの話を聞きました。

徳島市出身の松下さんがウガンダやケニアに関わって四半世紀。ストリートチルドレンの支援を、やれる範囲で地道に行ってきました。ストリートチルドレンのリハビリテーション農園事業を立ち上げ、シンナー依存（食べ物よりシンナーが安く手に入る）から立ち直るための有機農業と動物の飼育を、子供たちとやれる範囲で取り組むつもりだと話されました。

NHKディレクターのHさん、当会の会員でもあるOさん、先日早川さんを連れてこられたUさん、松下さんのインターネット関連のサポートもされているTさんなど、一般の皆様も参加され、いつもとは趣の異なる報告会となりました。

（少額ですが、当会からモヨ・チルドレン・センターを支える会にカンパもさせて頂きました）

## 通常総会

6月3日、午後6時半から9時半まで、平成29年度特定非営利活動法人太陽と緑の会通常総会を、太陽と緑の会事務局にて行いました。

12年前の火災の折、焼け跡から救出した活動記録写真のネガフィルムを昨年ようやくデジタル化したので、その中からワークキャンプ事業の映像を時系列的に見て頂きました。

## 作業所連絡協議会総会

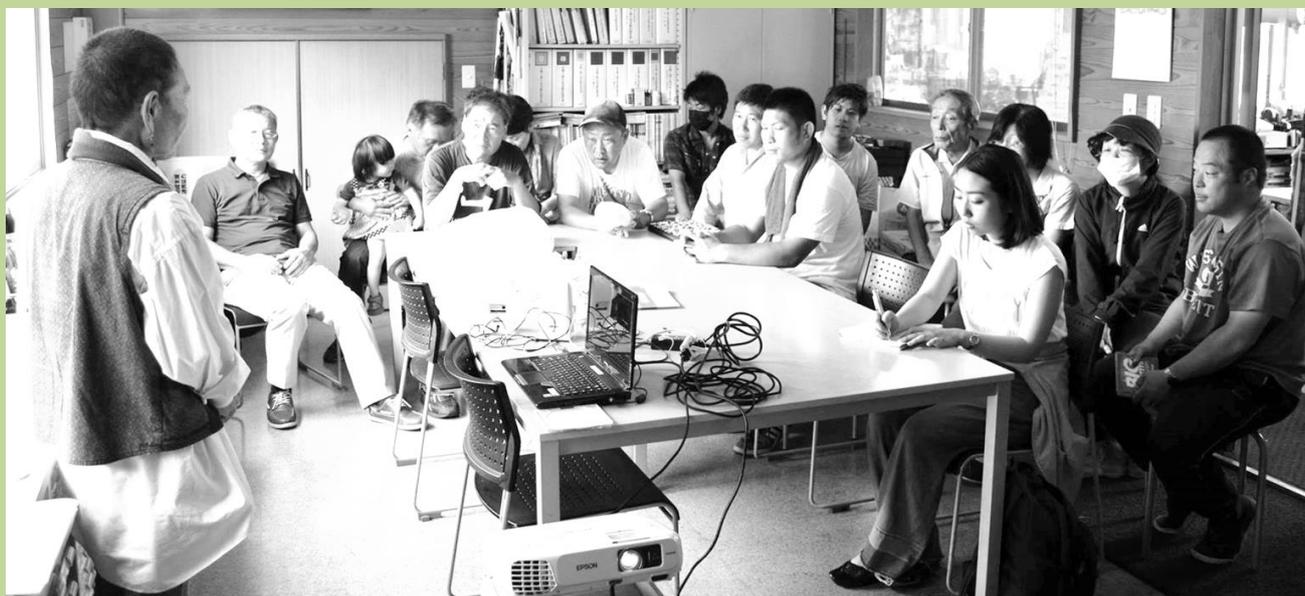
5月13日午後1時より県総合福祉センターにて、第21回徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会総会・研修会が開かれました。研修会ではドキュメンタリー福祉映画「夜明け前の子どもたち」（医療と教育の一体化をもって障害者に働きかけようという、びわこ学園の試みの記録）監督：柳澤寿男（1968年120分白黒）を鑑賞しました。

## 杉浦講演

5月31日 徳島県隣保館連絡協議会女性部会

7月6日 香川県地域活動・就労支援事業所連絡協議会研修会

7月22日 NPO法人「一村」設立総会（佐那河内村）



## 自動火災報知設備設置

太陽と緑の会リサイクル作業所・作業倉庫の自動火災報知設備及び誘導灯の設置工事を株式会社エコリース様にお願したところ、取締役会長の森本哲夫様をはじめ、代表取締役社長の赤澤健一様、皆様のご厚意により、リユース部品を無償で提供して頂くなど本当に少額の工事費用で施工して頂きました。

当初多額の費用負担も覚悟していただけない、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お忙しい中、何度も足を運び、具体的な所で動いて下さった中野様にも、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。

太陽と緑の会事務局建物が火災で焼失し、現在の新館を平成 18 年 4 月に再建した折も、株式会社エコリース様には、建物の電気工事及び給排水工事でお世話になりました。事務所及び面談室で使用している来客用のエアコン(計 2 台)も、森本様のご厚意により、エコリース様から寄贈して頂いたものであり、現在も大切に使用させて頂いております。本当にありがとうございました。

## 定休日及び夏期休業

水曜日、第 2 第 4 火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。よろしくお願い致します。

8 月 2 日(水)

※ 8 月 8 日は第 2 火曜日ですがオープンします。

8 月 9 日(水) 11 日(金・祝日)

8 月 12 日(土)~15 日(火)夏期休業

8 月 16 日(水)22 日(火)23 日(水)30 日(水)

9 月 6 日(水) 12 日(火)13 日(水)

9 月 18 日(月・祝日)

9 月 19 日(火)(※ 9 月 23 日(祝日)開所の代替休み)

9 月 20 日(水) 26 日(火)27 日(水)

## 中学生職場体験実習

6 月 5 日(月)午前 9 時半から午後 3 時半まで、徳島市の入田中学校 3 年生 12 名の皆様が、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所に、職場体験実習に来てくれました。

午前中は衣料品の入れ替え作業。今年の中学生の皆さんはとても元気です。通常の 4 倍くらいの量の入れ替え作業が 1 時間半くらいで完了。おしゃべりが好きな衣料品担当メンバー 2 人も顔つきが違います。

午後からは、商品の陳列や売場のディスプレイ変更など、それぞれ分かれて体験して頂きます。

「中学生のみんなが来てくれて、たくさん入れ替えができて、きれいになってよかった」とメンバーからも喜びの声が上がりました。

後日 S 先生が「感じたままを書いていますので、失礼な言葉もあるかもしれませんが・・・」と前置きされて、感想文を持ってこられました。

「・・・ハンディーを持った人達と接することはなかったので・・・どのように接したらいいのか分からず・・・不安でしたが・・・明るく、おもしろい人がいて・・・すぐ慣れました・・・仕事がやれない人が多いと思っていましたが・・・やれる仕事をてきぱきして・・・驚きました・・・笑顔で仕事をしている姿が印象的でした・・・差別はいけない・・・」

「・・・障害についてあまりよい印象がありませんでした・・・ハンディーを持っている人を怖がっていました・・・ハンディーを持った人が働いているのを初めて知りました・・・話しているときはとても楽しかった・・・このような考え方を二度としないように・・・サポートが出来るようにしたい・・・」

「・・・ハンディーをもっている人でもこれほど楽しそうに仕事をしているのはすごい・・・昼食でおみそしるをいただき・・・」

とてもおいしい・・・はじめはどうしたらいいのかわからなかったけど・・・教えてくれて・・・親切でおもしろい人・・・」

「・・・一度捨てかけた物をまた再利用する地球に優しいところ・・・ハンディのある方でも気楽に働ける最高の場・・・自分が就職するときは・・・頑張ろうと・・・」

朝ミーティングでその一部をメンバーたちに伝えました。いつもはガヤガヤうるさいメンバーたちも、何やら嬉しそうに聞いています。ありがとうございました。



ストレッチフィルムを商品に巻く

「こんな感じで巻いてくれたらいいんで」

実演して説明するメンバーKさんも中学生の皆さんも緊張気味



# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2017年4月1日～2017年5月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

山口、米田、匿名、小成、匿名、陰山

## 品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○団、木ノ桐、中安、木下、安藝、鎌田、芝原、平山、濱、西崎、真杉、川端、檜垣、小西、中野、谷口、豊田、前川、山本、古川、栗原、吉岡、櫻井、鈴江、花田、北、新居、立石、西、鶴本、河口、新居、桑井、新谷、福家、河原、井内、尾崎、西尾、長谷部、行重、妹尾、川村、合田、岡田、宮野、小島、板東、井上、木内、藤田、桑原、小泉、柴田、山口、森、福山、新水、住友、工藤、坪内、中川、津守、谷本、坂本、藤本、東條、笠井、常楽園、北畑、永松、岩城、長江、多田、宮本、弘田、芝、板東、佐藤、美濃、森、久次米、日下、大久保、五藤、豊田、北池、高原、志宇知、宮北、宿里、川尻、林、岡久、西川、南、疋田、小濱、岡村、松本、一宮、吉富、宮井、中西、武市、徳永、大松、松田、坂本、武岡、江淵、熊井、美馬、小倉、近藤、本田、小道、平岡、渡辺、前田、草津、長崎、石本、水田、山本、大寺、秋山、元木、米澤、大林、久米川、坂本、松谷、西出、布川、下山、奥村、植田、杉山、津守、橋本、大西、谷、岩崎、岡島、麻植、清水、河野、小澤、嶋津、栗飯原、高島、黒田、藤原、矢部、杉浦、河村、上田、宇野、藤田、テイ、松下、友竹、米田、濱田、西田、菅生、三ツ井、山本、永井、数藤、為実、奥村、大久保、長楽、セワケ、後藤田、尾形、原田、豊崎医院、高松、真沢、今獅々、カワノ、松島、竹内、上岡、鈴木、安芸、板東、和泉、富永、地中、lucett、高橋、矢野、山田、遠藤、兼松、高島、槇山、西野、長谷川、梅田、民、藤井、朝日、友成、佐々木、永井、牧野、木山、中西、福井、大西、ほり、出口、久米、後藤、辻、津嘉山、吉岡、多田、木村、中川、長田、明石、森口、岡村、幸田、水田、住友、川田、高田、富永、城内、後藤、猪子、蒔田、福田、新城、遊佐、藤川、女性グループ すいーぷ、吉本、徳永、布袋、郡、宮井、平山、森川、ムカイ、楠本、しまづ、半井、岩田、村川、島本、新開、佐野、佐々木、福岡、明野、徳島市市民協働課、田中、豊川、柳川、花侍○小松島市○福本、株本、矢野、小川、後藤、根本、土橋、徳政○鳴門市○トガフ、渡川、青木、三井、河野、矢野、馬居、福山、森、波馬、金澤、加川、高木、元木○藍住町○佐藤、村上、中野、井出、梅本、野口、中藤、谷本、川口、堀江、川端、橋本、西川、誉田、賀治、坂東、森下、木内、多田○板野町○岩下、福井、山本、三宅、竹本、賀満田○北島町○尾田、櫻葉、稻井○阿南市○米田、原、多田○上板町○関口、稻井、柏原、中尾、矢藤○阿波市○板東、佐藤、妹尾、高島、正木、宮城、横山、八尾○神山町○古屋、近藤、田村、瀧本○石井町○瀧川、村本、丸山、山西、宮崎、谷、フジ本、三河、兼子、松浦、辻、高島、井上、上田、岡田、田中、石本、太田、武市、佐藤、高橋、遠藤、藤重、関口、加藤、立石、河野○松茂町○碓、廣井、今野○吉野川市○山本、秋山、坂井、住友、中西、乾、竹内、鎌田、桑原、岡本、棚上、田村、原田、ハート フィール、沼田、小林○佐那河内村○黒石、露口、青木○海部郡○神沢○つるぎ町○嘉納○三好市○山本○香川県○池田、稻田○広島県○山下、山本○埼玉県○本田、田中○兵庫県○高岡、小島○東京都○小林、蒲田○愛知県○松浦○福岡県○永峰○群馬県○山本

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○松原、川島、杉内、向、美馬、大瀧、細川、鈴江、貝出、楠本、岡山、八村、チケット徳島、山本、ビューティーオアシス、チヨ、西岡、小野、カギョク、ギョク、吉岡、花畑、細岡、黒田、大西、佐川、山田、坂口、鴻野、古田、上野、井形、山内、岡本、照本、貝出、山本、藤井、井原、溝杭、夏木、平尾、今津、阿部、三島、猪子歯科、オーシャントランス、桑村、青香福祉会、宮越、工藤、山田、新居、正瑞、松尾、清水、前川、下込、安藤、飯田、美馬、市川、橋本、小川、酒井、キリスト教、早淵、香川、谷本、明石、津嘉山、富士、長谷部、阿部、田中、沢口、宮本、つつみ、黒田、久保、板東、梅本、谷口、池尻、漆原、石渡、村松、岡山、谷、高瀬、松ノ内、宮田、株木、左村、弘田、小倉、上岡、斎藤、内藤、真鍋、長尾、松岡、中川、中村、ソガベ、井上、福井、藤井、小林、岩代、海北、豊田米穀店、松崎、広野、新見、宮本、猪子、河野、西村、新居、秋山、増田、渡辺、片岡、隅田、川崎、小田、中野、鉄野、三木、多田、木下、新田、名蔵、大松、峰、横山、坂東、川上、斎藤、米本、近藤、内藤、フクヤ、大北、林、佐藤、上田、小野、浦田、吉元、ナカシマ、宮武、宮本、小林、篠原、大山、中山、笠原、上原、LEE biungwook、田村、谷本、伊藤、白河、米田、谷崎、林、沖成、阿部、藤田、鎌倉、中本、三島、国安、加納、齋藤、竹中、八巻、内田、吉本、家段、立道、宮越、熊本、圓藤、中西、庄野、きたの、和田、久米川、大櫛、比松、高尾、稻田、伊藤、松田、篠原、小川、松本、栗飯原、原田、土井、池田○鳴門市○長谷川、大和、山下、島、安村、森、諸田、櫻葉、久龍、大木、米田、篠原、大竹、高島○北島町○結城、大島、上野、山口、今井、佐藤、東、中野○藍住町○阿部、瀬本、渡辺○阿南市○清水、山本○上板町○小網○吉野川市○美馬、川真田、瀬尾、宮本、上村、日野、木内○板野町○松尾○石井町○さくら認定こども園、藤田、熊井、山口、黒川、林、矢田、元木、西原、三木○阿南市○谷本、日下、福島○小松島市○木下歯科、松本、吉田、溝口、大原○勝浦町○立石○佐那河内村○西條○松茂町○藤原

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。またお野菜を差し入れて下さった、自家製天然酵母パンを差し入れて下さった柴田様、お品物を丁寧に梱包して徳島県内外より郵送して下さいました皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



当会の活動を会員として、長年ご支援下さっているHさんご夫妻から、今年も手作りのブルーベリージャムを頂きました。

ご主人が栽培されているブルーベリーを、朝摘んでジャムにされているとのこと。手間暇かけて作られた貴重なものを、本当にありがとうございました。



### 編集後記～「捨てたもんじゃない」

知的ハンディを持つメンバーのAさんは、小学生の頃、放課後が習い事で埋まっていた。月曜日は習字、火曜日と金曜日は公文、水曜日はピアノ、木曜日は英会話、土曜日は日本舞踊…。

「ハンディを持って生まれたかもしれないが、少しでも健常者に近づけるようになってほしい。人様の前に出しても迷惑にならない、恥ずかしくない人になってほしい」

我が子がハンディを持っていることを隠さざるをえなかった時代、何事も努力すれば少しずつできるようになるという努力信仰の時代、子供の不出来は母親の責任と言われた時代の中、お母さんもAさんも手探りで進む以外にありませんでした。

ただ、残念ながら大きな成果にはつながらなかったようです。お母さんの落胆と、本人の無念が交差する中、言葉が飲み込まれていったのでしょうか。支援学校を卒業し、ある時、言葉にならない思いが、衝動的な行動と叫びで噴き出してきました。

公的資金で運営されている福祉施設からも（資格を持ち専門性が高いとされる指導員が多数いるはずなのですが）受け入れが難しいという判断を下され、行き場を探していく中で、公的資金がずっと少ない作業所に通うようになりました。

作業所のスタッフBは髪の毛を引き抜かれ、スタッフCはTシャツを引き裂かれ、腕も痛めました。意味は分からなくても相手が傷つくことを感じ取ると、「自分のことを分かってほしい」との想いをこめて、執拗にその言葉をぶつけていく。情動が収まるとAさん自身も、相手を傷つけてしまったことを後悔し、「ごめんね」と言いたいのに言えなくて、また傷つけていく。そこからのスタートでした。

「しんどい」と言えるようになるのに2年、「〇〇が嫌だった」という言葉がポツポツと出てくるのにさらに1年、心が折れそうになりながら毎日車で送り迎えを続けるお母さんと一緒に、体を張ってAさんと向き合う日々が続きました。

自分の気持ちを分かってほしいと思う相手ほど心身両面で傷つけてしまう。そうでない人に対しては仮面をつけていく。だから、「あんなに素直でいい子がまさか…。そんなことをするはずがない」となかなかその厳しさが伝わりません。

教育指導がしっくりこなかったAさんに、今さら教育指導的アプローチを繰り返しても意味はなく、そうかと言って、模範解答があるわけでもありません。

無力感とのせめぎあいの中で、教育・指導・努力信仰から少し距離をとりつつ、一緒に苦しみながら長い時間をかけて模索していく。

ただ、その中で、「まだまだ人間、捨てたもんじゃないな」と思える瞬間が、ごく稀にだがある。自分はなぜこの世界と出会ったのだろう、そしてなぜ相変わらずこの世界にいるのだろう、それを解く鍵はその辺りにあるような気がします。

（文責 小山）

（事例はいくつかの事例をつなぎ合わせたイメージ論であり、実際の事例とは異なります）

## NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

## 発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

（地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所）

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿作成 岡田

ゆうメール押印・タックシール添付 堀

製本・発送作業 岡田 福住 宇津

年会費：正会員 1万円（総会議決権・事業決算報告）

準会員 1,000円（機関誌発送）

郵便振替口座：01620-8-44703